



世界の医療団

報道各位

2023年10月12日

## パレスチナでの宣戦布告を受けて人権の尊重を求めます— 世界の医療団の声明

**世界の医療団は、イスラエルとパレスチナ当局に対し、両領土で激化する暴力を前に、国際人道法を尊重し適用するよう求めます**

10月7日（土）にパレスチナのアルカッサム旅団とアルクツズ旅団が数千発のロケット弾を発射し、ガザ国境付近の町に地上侵攻を行って以来、イスラエルの医療救急サービスによればイスラエル側で900人以上の死者と2,600人以上の負傷者を出している。他方、パレスチナ自治政府保健省によると、イスラエル軍はガザ地区を大規模に砲撃し、これまでに770人以上の死者と4,100人近くの負傷者を出している。ヨルダン川西岸地区の状況は非常に不安定で緊迫している。

世界の医療団は、イスラエルとパレスチナの両領土における暴力の激化に対し国際人道法を尊重し適用するよう、イスラエル当局とパレスチナ当局に要請する。

**世界の医療団は、パレスチナ占領地における住民の危機的状況について警告する。**

2005年に国連が記録を取り始めて以来、ヨルダン川西岸地区のパレスチナ人にとって最も死者が多い年となった。

私たちは国際人道支援団体として、人道的アクセス、すべての人々に対するニーズに基づいた医療、医療搬送、保健センターと病院へのアクセス、国際人道法を完全に尊重した民間人と医療従事者・救急隊員の保護を求める。ジュネーブ諸条約に従い、占領国には、占領地域における民間人の医療ニーズが満たされるよう確保する義務がある。

イスラエル政府に対し、民間人が攻撃された地域への人道的アクセスを尊重するよう求める。このようなアクセスは、必要不可欠な医療物資の搬入、医療チームや人道支援要員の通行、医療を必要とする患者のガザ地区からの搬送を可能にするために不可欠である。イスラエルがガザ地区を全面的に封鎖し、電気、食料、燃料の供給を停止すると発表したことを受け、世界の医療団は以下のことを求める。

・国際人道法を完全に尊重し、ガザのパレスチナ人全体にすべての基本的な物資を保証すること。

・また、ハマスの民兵によって誘拐された民間人の解放と、イスラエル住民に対する敵対行為を停止すること。

1995年からパレスチナで活動してきた世界の医療団は、激化する紛争が民間人の健康と福

祉に与える影響と、診療や医療サービスといった保健システムが対応能力を超えるリスクを懸念している。

パレスチナの占領とガザ封鎖により、ガザ地区は16年以上にわたって長期的な危機に苦しんできた。ガザの住民は、2007年、2012年、2014年、2021年、そして2023年と、さまざまな軍事的激化にさらされてきた。

### 世界の医療団の活動

世界の医師団は、パレスチナ、特にガザ地区に駐在している。パレスチナの人々の保健上のニーズに応えるため、医療・教育スタッフと現地のパートナーの能力向上支援に取り組んできました。特に外傷や整形外科の分野では、現地の医療スタッフの訓練やモニタリング、医療機器や医薬品、その他の物資の提供など、運営面や技術面での支援を通じて、緊急の医療分野で活動しています。

また、紛争と占領によって大きな影響を受けているパレスチナ人の精神衛生についても、入植者の暴力やイスラエルの占領軍の被害者に精神保健サービスを提供し、対応と支援を提供するための保健・教育関係者や市民社会組織の能力開発支援、さまざまな機関や市民社会の関係者間の調整に取り組んでいます。

世界の医療団ウェブサイト <https://www.mdm.or.jp/>

---

世界の医療団は、世界74ヶ国で330の活動と17のネットワークを持つ国際NGOです。1980年の団体発足以来、これまでも自然災害や紛争地域において、人道危機発生時の緊急支援から、その後の長期的な復興支援まで、現地のニーズに即した活動を続けてきました。

### ■お問い合わせ先■

世界の医療団 特定非営利活動法人 メドゥサン・デュ・モンド・ジャポン（認定NPO法人）

東京都港区東麻布2-6-10 麻布善波ビル2F

TEL: 03-3585-6436 広報担当 糟谷

（リモートワークをしている場合がありますので、メールをご利用ください）

Email: [communications@mdm.or.jp](mailto:communications@mdm.or.jp)